

2009年4月17日

 住友商事マシネックス株式会社

ユニファイド・コミュニケーションゲートウェイの販売を開始

住友商事マシネックス株式会社(東京都中央区 社長:荒井健彦)はユニファイド・コミュニケーション(以下 UC)をターゲットとした UC ゲートウェイの販売を開始しました。

米通信機器製造メーカーの Network Equipment Technologies ,Inc (以下 N.E.T.)と当社は国内での販売代理店契約を締結し、今後拡大が予測される UC 市場への製品展開を共同で行います。

UCは相手の在席状況を確認ながらE-Mailや電話の他、チャットやファイル転送などを行えるインスタントメッセージング等の各種コミュニケーション手段を統合する事により、コミュニケーションの最適化とビジネスの俊敏性を向上させるためのソリューションであり、N.E.T.社製 UC ゲートウェイは迅速な UC 環境への移行をサポートします。

N.E.T.社製 UC ゲートウェイの優位点のひとつは、Microsoft 社製 Office Communication Server(以下 OCS)認定のゲートウェイという点であり、世界で広く普及している Windows を基盤とした企業システムの UC 化で多くの実績を積み上げてきました。また OCS のみならず、多数の UC システムや既存の PBX(電話交換機)等の通信インフラとのシームレスな接続が可能のため、迅速且つ安価に UC 環境の構築ができる事も大きなメリットとなります。今後は Microsoft 社の幅広いパートナー企業をはじめ、国内の有力 Sier、Nler に向けて N.E.T.製品の優位性を発信し、UC 市場でのNo.1ゲートウェイを目指します。

製品の詳細はこちら <http://www.smx.co.jp/smx/net/>

また、同時にサーバー間など超高速通信が求められる環境での活用が期待されている次世代インターフェイス技術 Infiniband のパケットを広域ネットワーク(WAN)上で伝送可能にし、様々なプロトコル(通信手順)に対応するマルチプロトコルスイッチ「NX5010」の取り扱いも開始しました。本製品は、遠隔地に設置されたデータセンターやグリッド・コンピューティングの構成機器をシームレスに相互接続する装置であり、今後は仮想化やディザスタリカバリ(障害復旧機能)など、急速に遠隔間高速伝送の需要が増えているインターネットデータセンター向けに展開を予定しております。

◆グリッド・コンピューティング：ネットワークを介して複数のコンピュータを結ぶことで仮想的に高性能コンピュータをつくり、利用者はそこから必要なだけ処理能力や記憶容量を取り出して使うシステム。

※Office Communication Server、Windows は、Microsoft Corp.の登録商標です。

※N.E.T.は四半世紀近くにわたり高度な多目的・相互運用性・セキュリティ・機能を要求するマルチサービス・ネットワーク向けの音声・データ通信機器を提供。N.E.T.の幅広い製品群は多様な用途を満たすべく、既存のネットワークとの相互運用性および統合を実行し、セキュアな IP ベースの音声およびデータ通信へのシームレスな移行を実現します。

■会社概要

会社名 : 住友商事マシネックス株式会社(住友商事株式会社 100%出資)
本社 : 東京都中央区晴海1-8-8 トリトンスクエアオフィスタワーW
代表取締役 : 荒井 健彦
設立 : 1962年2月28日
URL : <http://www.smx.co.jp/>

■会社概要

会社名 : Network Equipment Technologies ,Inc
本社 : 6900 Paseo Padre Parkway Fremont, CA 94555, U.S.A
代表取締役 : C. Nicholas Keating
設立 : 1983年
URL : <http://www.net.com>

■お問合せ先

住友商事マシネックス株式会社 東京 ICT ソリューション部
Tel : 03-5560-6122 E-mail : net@smx.co.jp 担当 : 眺野、高橋